

令和7年度 年間指導計画 国語科 第1学年

目標	・国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。
指導の重点	・話す能力、聞く能力、話し合う能力を身に付けさせるとともに、考えを広げようとする態度を育てる。 ・構成を工夫して分かりやすく書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを広げようとする態度を育てる。 ・表現の仕方に注意して読む能力、情報を集め効果的に活用する能力を身に付けさせるとともに読書を生活に役立てようとする態度を育てる。

月	時数	単元名（題材名）	学習内容
4	1	朝のリレー	新たな言葉との出会いを楽しみ、大きな声で朗読する。
	1	野原はうたう	表現の特徴について、自分の考えをもつ。
	4	声を届ける／書き留める／調べる	音読や発表、学習の記録の仕方、辞典の調べ方について理解する。
5	3	（硬筆）楷書を書こう	楷書の基本的な筆遣いや筆順、字形に気をつけて書く。
	4	はじまりの風	場面の展開に沿った心情の変化を捉え、図などを使って整理する。
	1	情報を的確に聞き取る	聞き取った情報を整理し効果的にメモを取る方法を身に付ける。
6	4	話の構成を工夫しよう	目的や相手に応じて、情報を比較したり分類したりして説明する。
	1	漢字の組み立てと部首	漢字の組み立てと部首を理解する。
	2	ダイコンは大きな根？	段落の役割に着目して、文章の内容を捉える。
7	3	ちょっと立ち止まって	段落のまとまりに着目し、文章の要旨を捉える。
	1	情報整理のレッスン	情報を比較・分類する方法を確かめる。
	5	情報を整理して説明しよう	話の内容、構成、順序を工夫し、魅力的なスピーチをする。
8	3	言葉のまとまりを考えよう	言葉の単位について理解する。
	3	情報を集め、読み取り、引用しよう	グラフや表などの資料の読み取り方や、引用の仕方について理解する。
	3	空の詩	それぞれの詩についての情景や表現の効果について話し合う。
9	2	比喩で広がる言葉の世界	文章全体における段落の役割に着目し、文章の内容を正確に捉える。
	1	指示する語句と接続する語句	指示する語句と接続する語句の働きについて理解する。
	2	読書を楽しむ	読書活動への導きを広げる。
10	4	大人になれなかった弟たちに…	登場人物の行動や情景描写などに着目して読み、作者の思いを捉える。
	5	星の花が降るころに	文脈の中で使われている語句の意味を捉え、情景を想像して読む。
	4	聞き上手になろう／項目を立てて書く	相手が答えやすいように質問をする。項目を立てて案内文を書く。
11	4	方言と共通語／漢字の音訓	方言と共通語について理解する。漢字の音と訓について理解する。
	5	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	表や筆者の意見とそれを支える根拠との関係を理解する。
	5	根拠を示して説明しよう	統計資料やアンケートを活用し、根拠が明らかな説得力のある文章を書く。
12	4	漢字に親しもう／漢字の音訓	小・中学校で習う漢字に親しみ、語彙を豊かにする。
	1	大阿蘇	言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。
	5	文の組み立てを考える。	文の成分、分節の働きについて理解する。
1	2	いろは歌	仮名遣いに注意して音読し、古文の言葉の響きや調子に読み慣れる。
	4	蓬萊の玉の枝―「竹取物語」から	語句に注意しながら、現代の文章と異なる部分を確認、表現の特徴を知る。
	3	今に生きる言葉	漢文に親しみ、故事成語の由来と意味を理解する。
2	4	「不便」の価値を見つめ直す	筆者の主張を要約し、それに対する自分の考えをもつ。
	2	思考のレッスン	原因と結果を抜き出し、どのようにつながっているかを整理する。
	2	言葉の関係を考えよう	連文節、文節どうしの関係について理解する。
3	5	（毛筆）書き初めを書こう	毛筆書写の学習の成果を生かして、書き初めを書く。
	2	（毛筆）書き初めの鑑賞をしよう。	友達の作品から、美しく見える配置や字形の整え方を学ぶ。
	7	少年の日の思い出	場面展開や人物の描写に注意して読み、登場人物の心情変化を捉える。
4	2	単語の性質を見つけよう	単語が10種類の品詞に分類できることを理解し、それぞれの特徴を知る。
	2	（硬筆）字形を整えて書こう。	用紙にあわせて見やすく配置して書く。
	4	二十歳になった日	筆者の心情、表現方法などに注目し、その効果を考える。
5	5	構成や描写を工夫して書こう	構成や描写を工夫し、体験を基に随筆を書く。
	1	漢字の成り立ち	漢字の成り立ちについて理解する。

3	3	国語の力試し	「タブレット」を使い、問題に取り組む。 一年間の学びを振り返りながら、フリップにまとめ発表する。 詩を読み、印象に残ったことを発表する。 これまでの学習を生かして封筒や便箋に硬筆で書く。
	5	一年間の学びを振り返ろう	
	2	ぼくがここに	
	4	(硬筆)生活に広げよう	

評価の観点および規準		主な評価資料
【知識・技能】 語彙を身に付け、具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。		・ 定期テスト、小テスト等
【思考・判断・表現】 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えることができる。		・ 課題、定期テスト、小テスト等
【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。		・ 課題、小テスト等

令和7年度 年間指導計画 社会科（地理的分野） 第1学年

目標	・小学校社会科の既習事項をふまえ、学習内容の関連を図りながら、世界の諸地域の多様性や地域的特色を理解させる学習を行う。 ・世界の地理的認識を養う。 ・「地理的な見方・考え方」を働かせながら資料を読み取り、自分の考えを他者に伝える、表現する学習活動を重視する。
指導の重点	・知識の習得に偏りすぎないように、思考力・判断力・表現力の育成に力を入れる。 ・ICT機器を活用し、生徒の関心・意欲を高め、主体的な学習を促し、適切な課題設定・発問を行い、学習内容の充実を図る。

月	時数	単元名（題材名）	学習内容
4	6	世界の姿	地球をながめて、いろいろな国名と位置 経度と緯度 地球儀と世界地図の違い
5	6	日本の姿	世界の中での日本の位置 時差でとらえる日本の位置 日本の領域とその特色 都道府県と県庁所在地
6	9	人々の生活と環境	世界のさまざまな生活と環境 暑い地域の暮らし 乾燥した地域の暮らし、温暖な地域の暮らし 寒い地域の暮らし、高地の暮らし 世界各地の衣食住とその変化 宗教と生活のかかわり 調べ学習
7	9	世界の諸地域 アジア州	アジア州の自然環境、アジアの農業や文化 中国と東南アジア、南アジア、西アジア・中央アジア
9	8	ヨーロッパ州	ヨーロッパ州の自然環境、文化 EUと人々の生活の変化、ヨーロッパの農業 EUの工業
10	5 2	アフリカ州 北アメリカ州	アフリカ州の自然環境、文化と歴史、産業、自立への動き 北アメリカ州の自然環境、移民の歴史と民族構成
11	5 2	北アメリカ州 南アメリカ州	大規模な農業、工業、アメリカ合衆国の世界への影響 南アメリカ州の自然環境、多様な民族と人々の生活
12	4 2	南アメリカ州 オセアニア州	農業と工業、環境問題、産業の発展と開発にともなう問題 オセアニア州の自然環境、移民の歴史と多文化社会
1	3	オセアニア州	産業、強まるアジアの結びつき
2	4	まとめ	まとめ学習
3	4	身近な地域の調査	地形図、統計資料、レポート

評価の観点および規準	主な評価資料
【知識・技能】 資料を適切に読み取り、効果的に活用する。	・定期考査 ・単元テスト
【思考・判断・表現】 社会的事象を多面的・多角的に考察し、自分の言葉で表現する。	・定期考査 ・パフォーマンス課題
【主体的に学習に取り組む態度】 課題に関心をもち、意欲的に意見を発表する。 課題に取り組む。	・単元テスト ・パフォーマンス課題

令和7年度 年間指導計画 社会科（歴史的分野）第1学年

目標	・小学校社会科との関連を図り、史料文や写真などの資料を選択し、活用する学習活動を重視する。わが国の歴史の大きな流れを各時代の特色を踏まえて理解させる。 ・わが国の歴史の大きな流れを各時代の特色を踏まえて理解させる。
指導の重点	・基礎・基本の習得を前提とし、歴史の大きな流れと歴史的事項の因果関係の理解を重視して指導内容を構成する。 ・chromebookを活用し、生徒の関心・意欲を高め、主体的な学習を促し、適切な課題設定・発問を行い学習内容の充実を図る。

月	時数	単元名（題材名）	学習内容
10	25	歴史をとらえる見方・考え方 世界の古代文明と宗教のおこり	時期や年代の表し方、歴史の流れ、時代の特色のとらえ方 人類の出現と進化、旧石器時代と新石器時代の生活 世界各地の文明、中国の文明 ギリシア・ローマの文明、三大宗教
11	49	日本列島の誕生と大陸との交流 古代国家の歩みと東アジア世界	縄文時代と弥生時代の生活、邪馬台国、大王の時代 聖徳太子の政治改革、律令国家の成立、平城京、奈良時代の人々の生活、天平文化、平安京と律令国家、摂関政治、国風文化
12	5	武士の政権の成立	武士の成長 院政、平氏政権 鎌倉幕府の成立と執権政治 武士と民衆の生活 鎌倉文化・宗教
1	4	ユーラシアの動きと武士の政治の展開	中世のユーラシア大陸 モンゴル帝国とユーラシア世界
2	4	ユーラシアの動きと武士の政治の展開	蒙古襲来 南北朝の動乱と室町幕府
3	3	ユーラシアの動きと武士の政治の展開	東アジアとの交流 産業の発達と民衆の生活 応仁の乱と戦国大名 室町文化とその広がり

評価の観点および規準	主な評価資料
【知識・技能】 資料を適切に読み取り、効果的に活用する。	・定期考査 ・単元テスト
【思考・判断・表現】 社会的事象を多面的・多角的に考察し、自分の言葉で表現する。	・定期考査 ・パフォーマンス課題
【主体的に学習に取り組む態度】 課題に関心をもち、意欲的に意見を発表する。 課題に取り組む。	・単元テスト ・パフォーマンス課題

令和7年度 年間指導計画 数学科 第1学年

目標	・正の数と負の数、文字を用いた式と1元1次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。 ・数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見だし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を育成する。 ・数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を育成する。
指導の重点	・日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動を取り入れる。 ・数学の事象から問題を見だし解決する活動を取り入れる。 ・数学的な表現を用いて説明し伝え合う活動を取り入れる。

月	時数	単元名（題材名）	学習内容
4 5	25	1章 正の数と負の数	・正の数と負の数 符号のついた数、数の大小 ・加法と減法 加法、減法、加法と減法の混じった式 ・乗法と除法 乗法、除法 ・いろいろな計算 四則、素因数分解 正の数、負の数の利用
6	19	2章 文字と式	・文字と式 文字を使った式、文字式の表し方、いろいろな数量の表し方、式の値 ・文字式の計算 1次式の加法、減法 1次式の数の乗法、除法 ・文字式の利用 文字式の利用、関係を表す式
7	15	3章 1次方程式	・1次方程式 方程式とその解、等式の性質、1次方程式の解き方、比例式 ・1次方程式の利用 1次方程式の利用
9 10	18	4章 比例と反比例	・比例 関数、比例、座標、比例のグラフ ・反比例 反比例、反比例のグラフ ・比例と反比例の利用 比例と反比例の利用
10 11	14	5章 平面図形	・平面図形 平面上の直線、図形の移動 ・作図 作図の基本 ・円 円
12 1	20	6章 空間図形	・空間図形 いろいろな立体、空間における平面と直線 立体のいろいろな見方 ・立体の体積と表面積 立体の体積、立体の展開図、おうぎ形の計量 立体の表面積、球の体積と表面積
1 2	12	7章 データの活用	・データの整理と活用 度数の分布とヒストグラム、データの比較、累積度数 ・確率 ・ことがらの起こりやすさ
3	17	1年間の総まとめ	・1年間の総まとめ

評価の観点および規準	主な評価資料
【知識・技能】 ・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	・定期考査 ・単元テスト など
【思考・判断・表現】 ・数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	・定期考査 ・単元テスト など
【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。	・問題集 ・ノート ・プリント ・振り返り など

令和7年度 年間指導計画 理科 第1学年

目標	自然の事物・現象に進んでかわり、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。
指導の重点	- 実験結果に基づき表やグラフを作成し、レポートを作成発表する。またモデルなどの活用により思考力や表現力を養う。 - 科学技術が身近な生活に活かされていることと結びつけ、より理解を深めるとともに科学的な考え方を生活に活かせるように指導する。このため、ものづくりや生活に基づいた課題提示を行う。 - 生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を育成する。 - 観測しにくい現象などをコンピュータやプロジェクタなどを用いてシミュレーションやイメージ画像として提示するなど、ICT機器を活用して生徒の思考と理解を支援する。 - 計算や化学反応式などつまずきやすい課題を、家庭で反復練習させるように支援し、小テストなどによって定着を図る。

月	時数	単元名（題材名）	学習内容	時数	単元名（題材名）	学習内容
4	8	1-1 動植物の分類 第1章 身近な生物の観察	- 身のまわりの生物の観察 - 生物の仲間わけのしかた	10	1-3 身のまわりの現象 第1章 光の性質	- 光の進み方 - 光が通りぬける時のようす - レンズのはたらき
5						
6	10	第2章 植物の分類	- 花のつくり - 子葉・葉・根のつくり - 植物の体のつくりと生活	7	第2章 音の性質	- 音の伝わり方 - 音の大小と高低
7				10	第3章 力のはたらき	- 力のはたらき - 力の大きさのはかり方 - 重さと質量 1つの物体に2つの力がはたらくとき
9	10	第3章 動物の種類	- 背骨のある動物 - 背骨のない動物 - 動物の分類			
10						
11	6	1-4 大地の活動 第1章 火山～火を噴く大地～	- 火山の噴火 - マグマの性質と火山 - マグマからできた岩石 - 日本列島の火山	2	1-2 身のまわりの物質 第1章 物質の分類	- 物質の区別 - 重さ・体積と物質の区別 - 気体の区別 - 身のまわりのものから発生した気体の区別
12						
1	12	第2章 地層～大地から過去を読み取る～	- 身近な大地の変化 - 地域の大地の変化 - 地層のでき方 - 地層の岩石 - 地層・化石と大地の歴史 - 大地の恵みと災害	6	第2章 粒子のモデルと物質の性質	- 物質のとけ方 - 濃さの表し方 - 溶質のとりだし方
2				11	第3章 粒子モデルと状態変化	- 物質の姿の変化 - 状態変化と温度 - 混合物の分け方
3	6	第3章 地震～ゆれる大地～	- ゆれの発生と伝わり方 - ゆれの大きさ - 日本列島の地震			

評価の観点および規準	主な評価資料
【知識・技能】 自然事象の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・授業態度・レポート ・ワークシート・小テスト ・定期テスト
【思考・判断・表現】 自然事象の規則性などを見出し表現しているなど、科学的に探究している。	・レポート・ワークシート ・小テスト・定期テスト
【主体的に学習に取り組む態度】 自然事物現象に進んで関わり、見通しを持ったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	・授業態度・自己評価 ・レポート・ワークシート

令和7年度 年間指導計画 英語科 第1学年

目標	外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり、表現したり伝えあったりする資質・能力の育成を目指す。
指導の重点	聞くこと、読むことの指導では、簡単な英文を読んだり聞いたりして、その概要を把握し内容を理解する力の育成を図る。話すこと、書くことの指導では、自分の考えや気持ちを短い文章で書いたり、それをスピーチで発表するなどの言語活動を通して、基礎的な表現力や伝え合う力の育成を図る。

月	時数	単元名（題材名）	学習内容
4	10	フォニックス 語彙 Lesson 1 About Me Words&Sounds 1	・アルファベットの音と文字を理解する。 ・親しみのある語句を書く。 ・まとまりのある内容で自己紹介をする。
5	15	Lesson 2 My Hero Words&Sounds 2	・クラスメイトの得意なことを尋ねたり伝えたりする。 ・ものの数を尋ねたり伝えたりする。
6	15	Lesson 3 My Treasure Take Action! Talk 1 Take Action! Read 1	・人やものなどを説明したり描写したりする。 ・道順を尋ねたり、説明したりする。 ・町の案内図を見て、必要な情報を捉える。
7	12	Project 1 What am I?クイズ	・What am I?クイズを作り、出題したり、友達のクイズに答えたりする。
8 9	16	Lesson 4 My Summer Plans Take Action! Listen 1 Take Action! Talk 2	・夏休みの予定について、尋ねたり伝えたりする。 ・メニューの説明を聞いて、必要な情報を捉える。 ・注文を受けたり、注文したりする。
10	15	Lesson 5 Ms.Brown's Family Take Action! Listen 2 Take Action! Read 2	・家族について伝えたり、尋ねたりする。 ・競技会場のアナウンスを聞いて、要点を捉える。 ・イベントの案内を読んで、要点を捉える。
11	15	Lesson 6 School Life in the U.S.A. Take Action! Listen 3 Take Action! Talk 3	・自分たちの学校生活について説明したり尋ねたりする。 ・イベントの案内を聞いて、概要を捉える。 ・体調について症状を尋ねたり説明したりする。
12	11	Lesson 7 Athlete with Spirit Project 2 理想のロボット選手権 Reading Lesson 1	・車いすバスケットボール選手のインタビューを読み、要点を捉える。 ・理想のロボットを勤化手、アイデア募集の申込フォームに記入する。 ・アリスとハンプティ・ダンプティの物語を読んで、その概要を把握する。区切りと抑揚をつけて音読する。
1	10	Lesson 8 Discover Japan Take Action! Listen 4 Take Action! Read 3	・今年の思い出を絵日記に書く。 ・新作映画の予告編を聞いて、概要を捉える。 ・映画館のウェブサイトを読んで、必要な情報を捉える。
2	12	Lesson 9 Emergency Food Take Action! Listen 5 Take Action! Talk 4	・防災や非常食について、コラムを読んだり、自分の考えを英語で書いたりする。 ・天気予報を聞いて、必要な情報を捉える。 ・手伝いを依頼したり、承諾したり断ったりする。
3	9	Project 3 日本の『昔話』の紙芝居 Reading Lesson 2	・海外の子供たちのために、日本の昔話の紙芝居を作り、発表する。 ・沖縄で語られてきた物語を読んで、概要を捉える。

評価の観点および規準	主な評価資料
【知識・技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。	定期考査、単元テスト、インタビューテスト、発表、会話、英作文など
【思考・判断・表現】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	定期考査、発表、会話、英作文など
【主体的に学習に取り組む態度】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	言語活動への取組、宿題や提出物への取組

令和7年度 年間指導計画 音楽科 第1学年

目標	・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付ける。 ・音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 ・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽によって生活を豊かなものにしていく態度を養う。
指導の重点	・歌唱では、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う活動を重視する。歌詞の内容や作詞者作曲者、使われている楽語や記号、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりなどを理解し、自らの音楽表現に活かせるようにする。 ・器楽、創作では、楽器の音色や響きと奏法との関わりや、音の重なり方、反復、変化、対照などの構造上の特徴を理解し、創意工夫した表現を目指す。 ・鑑賞では、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解し、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割などについて自分なりに考え、様々な視点で楽曲を捉えられることを目指す。

月	時数	単元名（題材名）	学習内容
4	5	新しい仲間と思いきり歌おう ・コンニチハハーモニー ・『校歌』 アルトリコーダーに親しもう ・よろこびの歌 ・かっこう	・基本的な歌い方 ・基本的な歌唱表現 ・アルトリコーダーの基本的な奏法 ・豊かな音色や響きを生かした独奏や合奏の表現の工夫
5 6	8	音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴こう ・四季より 第1楽章「春」 情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌おう ・『浜辺の歌』 ・『赤とんぼ』	・ソネット（詩）と音楽との関わりや音楽の形式について ・（旋律や強弱などの）独奏ヴァイオリンと合奏による表現の違い ・旋律の特徴や強弱の変化を生かした歌唱表現 ・日本語の美しい響きを生かした歌唱表現
7 9 10	15	思いをこめて合唱しよう （合唱コンクールに向けて） ・『夢の世界を』 ・学年課題曲 ・各クラス自由曲 ・指揮法	・作詞者や作曲者、楽語や記号、曲の構成の理解 ・歌詞の意味や曲の背景にある情景や作者の心情、自己のイメージや感情をふくらませた歌唱表現 ・指揮の基本的な表現方法
11 12	6	曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴こう ・「魔王」 人々の暮らしの中から生まれた日本の民謡を聴こう ・「ソーラン節」 ・「かりぼし切り歌」	・音楽を形づくっている要素の知覚、感受 ・詩の内容と曲想の変化との関わり ・日本の民謡が生まれた背景や民謡の特徴の理解
1 2 3	11	構成を工夫して音楽を創ろう ギターに親しもう ・「きらきら星」 ・「よろこびの歌」	・音符や休符の理解 ・基本的な記譜法 ・ギターの基本的な構え、奏法 ・ギターの音色や響きを生かした独奏や合奏の表現の工夫

評価の観点および規準	主な評価資料
【知識・技能】 ・作詞者や作曲者、楽語や記号、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している。 ・創意工夫を生かした表現をするために必要な歌唱の技能や、楽器で表現したり曲を創作したりする基礎的な技能が身に付いている。	・実技試験 ・定期考査
【思考・判断・表現】 ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術などと関わらせながら、どのように表現するか思いや意図をもったり、音楽のよさや美しさを味わって聴いたりしている。	・批評文 ・提出物 ・定期考査
【主体的に学習に取り組む態度】 ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、主体的・協働的に粘り強く学習活動に取り組もうとしている。	・授業中の取組 ・振り返り ・提出物

令和7年度 年間指導計画 美術科 第1学年

目標	- 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。 - 自然の造形や美術作品などの造形的な美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 - 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を養い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。
指導の重点	- 表現に関する資質、能力が幅広く身に付くようにするために基礎の定着を図る。特定の表現分野の活動のみに偏ることなく、描く活動とつくる活動をいずれも扱うようにする。 - 発想や構想の学習では、感じ取ったことや考えたこと、目的や条件などを基に、言葉で考えを整理する言語活動の充実を図る。 - 鑑賞活動では、対話的な学びを通して、お互いのよさや個性などを認め尊重し合うような学習活動の充実を図る。

月	時数	単元名(題材名)	学習内容
4	1	= オリエンテーション =	・美術の授業内容・評価評定・なぜ美術を学ぶのかに関して。
4	4	= 表現[絵画]/鑑賞 = < デッサン・スケッチ >	- 対象を見つめ感じ取った形の特徴や美しさを基に、全体と部分などを考え、心豊かに表現する構想を練る。 - 鉛筆の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表す。 - 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。
5 6	8	= 表現[デザイン]/鑑賞 = < ロゴマーク >	- 絵の具や筆の特性などから制作の順序を考え、見通しをもって表す。 - 生活や社会の中の美術の働きについて関心を持つ。 - 伝える目的や条件などを基に、伝える相手などから主題を生み出し、分かりやすさと美しさの調和のとれた表現の構想を練る。
7	3	= 表現[デザイン]/鑑賞 = < 明るい選挙ポスター > (夏休みの課題)	・伝える目的や条件などを基に、伝える相手などから主題を生み出し、分かりやすさと美しさの調和のとれた表現の構想を練る。
9 10	10	= 表現[工芸]/鑑賞 = < 消しゴムはんこ >	- 装飾の目的や条件をもとに、洗練された美しさを考え、表現の構想を練る。 - 材料や彫刻刀などの特性などから、制作の順序を考え、見通しをもって表す。
11 12	9	= 表現[絵画]/鑑賞 = < モダンテクニック >	- 形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。 - 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。
1 2 3	10	= 表現[絵画]/鑑賞 = < 風景画 >	- 対象を見つめ感じ取った形の特徴や美しさを基に、全体と部分などを考え、心豊かに表現する構想を練る。 - 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。 - 絵の具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表す。 - 材料や用具の特性などから制作の順序を考え、見通しをもって表す。

評価の観点および規準	主な評価資料
【知識・技能】 - 表現の活動において、材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して想像的に表そうとしている。また、制作の順序を考えながら見通しをもって表そうとしている。 - 表現及び鑑賞の活動において、形や色彩、材料、光などの特性や、それらが感情にもたらす効果を理解している。また、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	- 作品 - 授業プリント - 定期考査
【思考・判断・表現】 - 表現の活動において、感じ取ったことや考えたことなどを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現の構想を練っている。また、伝える、使うなどの目的や機能と、美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練っている。 - 鑑賞の活動において、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて	- 作品 - 授業プリント - 定期考査

考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を広げている。また、生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	
【主体的に学習に取り組む態度】 ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・授業への取組 ・授業プリント

令和7年度 年間指導計画 保健体育科 第1学年

目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体化として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す。
指導の重点	・ 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけるようにする。 ・ 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 ・ 生涯にわたって運動に親しむとともに、健康の保持増進と体力向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

月	時数	単元名（題材名）	学習内容
4	7	体づくり運動	・ 体ほぐし運動、体力を高める運動、新体力テスト、運動会練習
	3	体育理論	・ 運動やスポーツの多様性
5	10	陸上競技	・ 短距離走、リレー（運動会練習含む）
	14	球技	・ ネット型（バレーボール）
	4	保健分野	・ 健康な生活と疾病の予防
6 7 9	11	水泳	・ クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、時間泳
10		陸上競技	・ ハードル走
11	4	保健分野	・ 心身の機能の発達と心の健康
12	5	ダンス	・ 現代的なリズムのダンス
1 2 3	8	柔道	・ 柔道
	8	球技	・ バスケットボール
	4	保健分野	・ 心身の機能の発達と心の健康

評価の観点および規準	主な評価資料
【知識・技能】 各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解するとともに、各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付ける。	・ 技能検査、授業観察、補助簿、筆記テスト
【思考・判断・表現】 運動を豊かに実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせを工夫するとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝える。	・ 補助簿、提出物、授業観察、筆記テスト
【主体的に学習に取り組む態度】 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組む。	・ 授業観察、筆記テスト、補助簿、提出物

令和7年度 年間指導計画 技術科 第1学年

目標	・材料や加工の特性等の原理や法則と、材料の製造、加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解する。 ・情報の表現、記録、計算、通信の特性等の原理や法則について理解する。 ・技術に込められた問題解決の工夫について考える。
指導の重点	・基礎的、基本的な知識や技能の定着を図る。 ・技術に込められた問題解決の工夫について考える。

月	時数	単元名（題材名）	学習内容
4	2	・ガイダンス ・生活や社会を支える材料と加工の技術 ・材料と加工の技術による問題解決	・工夫、創造の力が技術を支える ・技術の見方、考え方 ・技術分野の学習を始めよう ・身の回りの材料と加工の技術 ・材料の特性と加工方法 ・丈夫な製品を作る工夫 ・材料と加工の技術の問題解決の工夫 ・問題の発見と課題の設定 ・解決策の構想 ・作業手順を考えた製作
5	4		
6	5		
7	3		
9	4	・材料と加工の技術による問題解決 ・社会の発展と材料と加工の技術	・作業手順を考えた製作 ・問題解決の評価、改善、修正 ・材料と加工の技術の最適化 ・これからの材料と加工の技術
10	4		
11	3		
12	3		
1	2	・生活や社会を支える情報の技術	・身の回りの情報の技術 ・コンピュータの仕組み ・情報のデジタル ・情報通信ネットワークの仕組み ・情報セキュリティの仕組み ・情報モラル ・情報の技術の問題解決の工夫
2	3		
3	2		

評価の観点および規準	主な評価資料
【知識・技能】 ・材料や加工の特性等の原理や法則と、材料の製造や加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解している。 ・製作に必要な図をかき、安全で適切な製作や検査、点検等ができる技能を身につけている。 ・情報の表現、記録、計算、通信の特性等の原理や法則について理解している。	・作品 ・提出物 ・定期テスト
【思考・判断・表現】 ・材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び習性について考えている。 ・情報の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。	・作品 ・提出物 ・定期テスト
【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に材料と加工の技術について考え、理解しようとしている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。 ・主体的に情報の技術について考え、理解しようとしている。	・授業への取組 ・作品 ・提出物

令和7年度 年間指導計画 家庭科 第1学年

目標	衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を取得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して課題をもって生活をよりよくしようとする態度を育てる。
指導の重点	・生活に必要な基礎的・基本的な知識や技術を習得させる。 ・学んだことを定着させ、日常生活に生かすことができるようにさせる。 ・生活と技術とのかかわりについて理解できるようにさせる。

月	時数	単元名（題材名）	学習内容
4	3	ガイダンス わたしたちの衣生活	・小学校の家庭科の振り返りと、中学校の家庭分野の学習 ○衣服の選択と手入れ ・衣服の役割
5	4	わたしたちの衣生活	○衣服の選択と手入れ ・私らしさとTPO ・日本の衣服の文化 ・衣服の手入れ①（衣服の補修）
6	3		
7	3		
9	4		
10	3		
11	3	私たちの住生活	○生活を豊かにするために ・作って楽しい布製品 ○持続可能な衣生活 ・衣服の手入れ②（衣服の洗濯と保管） ・持続可能な衣生活を目指して
12	3		
1	3		
2	3		
3	3		

評価の観点および規準	主な評価資料
【知識・技能】 ・基本的事項を理解している ・基本的な技術を身に付けている	・定期テスト ・実技テスト
【思考・判断・表現】 ・自分の考えを表現している ・作品や作業に工夫がある	・定期テスト ・提出課題
【主体的に学習に取り組む態度】 ・課題に意欲的に取り組んでいる	・授業や課題への取組